

松丸太、4万円超え

過熱やまず、異常な高値圏に

西日本を中心に値上がりが続いていた松丸太は、柱、土台取りともに4万円（市場置き場渡し、立方材）超えが聞かれ始めた。25日には、久万広域森林組合（愛媛県上浮穴郡、板崎鳴海代表理事組合長）久万市場で松3材×16材の平均単価が4万200円と暴騰。さらに28日には、日田市森林組合（大分県日田市、井上明夫代表理事組合長）で4材×16材×18材に4万6900円が付き、前回市比7200円高となった。

久万広域森林組合久万

万市場が25日に開いた。全国的に国産材への代替は進んでいるが、九州や岡山といった西日本で先行して価格が上昇しており、買い方外材の手当てが進まず、仮需を含めた国産材への転換がある。先行き松4材土台取りや中目材、杉柱取りにも波及し、さらに上値を旨指す展開になるのではないかと過熱感が高前後で推移していた。

しかし、6月に入ると上旬の市では2万7000円、中旬の市では3万5000円と一足飛びに価格が上昇、25日の市では4万円に到達した。

出材量は昨年より多いが、外材の製品契約価格を加味すれば、原木を4万円の手当てしても国産材製品で提案する方が価格変動のリスクが小さく、見積もりもしやすいという。また、松3材×4材中目材2万8000円、杉3材柱取り1万8000円はそれぞれ前月比3000円～5000円高、松4材土台取り3万6000円は同1万～1万2000円高と、松柱取り以外にも値上がりが止まらない。

梅雨が明ければ出材量が増える見込みだが、土台、柱、梁すべの部材で不足感が解消するとは思えず、買い方からは「秋需の見通しも不透明で価格だけが独り歩きしてしまろ」「高すぎて手を出せず直近で必要な量だけにとどめている」と不安の声も出ている。一方、大分県日田地

域の原木共販所でも松土台取り価格が4万円（立方材）台を突破した。日田市森林組合の28日の共販市で、4材×16材×18材に4万6900円が付き前回市比7200円高に。土台取りには熊本地域の市場でも同日時点で3万9000円台が入っており、限りなく4万円に近付いている。



日田地域の市場に出材された松土台取りA材（6月上旬撮影）

国産材製品への引き合いは依然として強く、製材メーカーにも多くの注文が殺到。杉丸太価格には一服感が見られるが、松丸太は量産工場や地場製材所がせり合

い、市を重ねるごとに値上がりする展開となっている。原木に好値が付いていることを背景に山側の出材意欲も高く、梅雨時期ながら有力市場には多量の出材がある。

日田市森組の職員の

D105ミル角を市売する場合、歩留まり50%で製材・乾燥・輸送費などを計算すると14万円程度で売らなければならぬと説明した。他の検査工場も、取引先との交渉はこれからだが、7月からKD材価格の大幅な引き上げを予定している。




集成材

お問い合わせ下さい

TSC 株式会社 ティ・エス・シー

〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ <http://www.syusei-tsc.com>

一人は「26年間勤めているが、松並材に4万円台は聞いたことがない」と話した。

同日に行われた肥後木材（熊本市、佐藤圭一郎社長）の市売で土台取りを高値で落札した

量産工場社長は「原木価格の先行きは分からない。ただ径級16材の丸太を4万円で買いK話した。」

市場担当者は「競合の多い4材材と3材材では全く値段が違う。素材業者には4材造材をお願いしている」と話した。